

第55回 RIDCマンスリー研究セミナー

中世の石鍋

－ 滑石製調理具からみる物資流通 －

スピーカー

岡山大学文明動態学研究所 助教

柴田 亮

日時

2026年4月15日(水)

12:00～13:00

場所

オンライン開催



長崎県西海市ホゲツト石鍋製作所跡(発表者撮影)

わが国の中世の人々が利用した調理具の1つに、滑石でつくられた石鍋がある。滑石は柔らかく加工しやすい一方、耐熱性・保温性に優れた性質をもつ。そのため、滑石製石鍋は、高級品として、琉球列島から東北地方まで広く流通した。

その最大の生産地は長崎県西彼杵半島であり、これまで国内に流通する石鍋の多くが同地の製品と考えられてきた。しかし、近年の研究により、複数の生産地の存在が明らかとなり、石鍋の生産・流通・消費のあり方についての革新が求められている。本セミナーでは、滑石製石鍋の基本的事項と最新の研究成果を踏まえ、中世社会における物資流通とその背景を考察する。

お申し込み先

<https://forms.gle/5Loqt88rtXLvGWwBA>

お申し込み締め切り

4月14日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。